

とよの



議会 だより

第154号

令和7年(2025年)7月25日発行



東ときわ台小学校としての
最後の運動会
2025.5.31(土)

6月定例会議報告

令和7年6月2日～12日

令和7年6月定例会議は、6月2日から12日までの11日間の日程で開催しました。提出された案件は、12件（報告6件、条例改正3件、補正予算2件、その他1件）でした。最終日に提案された追加の2議案（第33号・第34号）は、本会議で審議、その他の関係案件（報告を除く）は、各常任委員会で審査したのち、本会議で採決しました。

報告			
1号報告	専決処分の報告 税条例改正	地方税法の改正に伴い、所要の改正をするものです	
2号報告	専決処分の報告 和解及び損害賠償の額を定めることについて	令和7年4月1日、国崎クリーンセンターにおいて職員が運転する車が、停車中の相手方車両に接触し損害を与えたものです	
3号報告	専決処分の報告 和解及び損害賠償の額を定めることについて	令和7年3月9日、新光風台けやき公園前において、路面上の縁石がぐらついており、その上に相手方車両のタイヤが乗ることで縁石が跳ね、当該車両に損害を与えたものです	
4号報告	令和6年度一般会計予算継続費繰越計算書報告	小中一貫校施設整備事業は複数年にわたる継続費用を計上しており、令和6年度に執行した費用を除いた額を繰り越すものです	
5号報告	令和6年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書報告	令和6年度内に完了できなかった17事業のうち、令和6年度中に執行した費用を除いた額を令和7年度に繰り越すものです	
6号報告	令和6年度下水道事業会計予算繰越計算書報告	令和6年度内に完了できなかったマンホールポンプ等監視装置更新工事を令和7年度に繰り越すものです	
条例改正			
29号議案	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例改正	「語学指導等を行う外国青年招致事業」を活用して任用する外国語指導助手の月額報酬が引き上げられたことに伴い、所要の改正を行うものです	全員賛成 可決
30号議案	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例改正	令和7年6月に支給する町長の期末手当を減額するものです	全員賛成 可決
31号議案	税条例改正	地方税法の改正に伴い、所要の改正を行うものです	全員賛成 可決
補正予算			
32号議案	令和7年度一般会計補正予算（第1回）	主な事業は、西地区の小中一貫校施設整備事業工事請負費です	全員賛成 可決
34号議案	令和7年度一般会計補正予算（第2回）	33号議案の寄附金の支払いを求める訴訟にかかる費用です	全員賛成 可決
その他			
33号議案	訴えの提起について	スマートシティ事業において、企業版ふるさと寄附金の残額1億3518万1000円を支払う義務がある株式会社OZ1(オズワン)に対し支払いを求めるため訴訟するものです	全員賛成 可決

6月会議報告

令和7年6月25日

提出された案件5件（契約の変更2件、動産の取得2件、補正予算1件）は本会議で審議し、採決しました。

35号議案	工事請負契約の一部変更について	西地区小中一貫校施設改修工事の請負契約の変更です	その1（校舎）	変更前 28億6000万円 変更後 29億3475万4812円	全員賛成 可決
36号議案	工事請負契約の一部変更について	＜契約先＞ コーナン建設株式会社	その2（体育館）	変更前 3億5200万円 変更後 3億5685万7600円	全員賛成 可決
37号議案	動産の取得について	消防団消防ポンプ自動車1台 ＜契約金額＞2662万円 ＜契約先＞小川ポンプ工業株式会社			全員賛成 可決
38号議案	動産の取得について	豊能町立小中学校タブレット端末等 ＜契約金額＞5270万2650円 ＜契約先＞日本電通株式会社			全員賛成 可決
39号議案	令和7年度一般会計補正予算（第3回）	定額減税補足給付金給付事業です			全員賛成 可決

総務建設 常任委員会



6月5日開会
委員5名全員出席

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例改正

問 外国語指導助手の他に該当する職種は。

答 他に土木専門官と防災専門官です。

問 改定による影響額は。
答 任用初年度の報酬額は、月額5万円程度上がると見込んでいます。

(全員賛成 可決)

税条例改正

問 今後、公示伝達についてはホームページにも掲載することのだが、個人情報扱い。

答 プライバシー保護の観点から、検索されやす

いテキストデータではなく、画像データとして対処が示されており、今後適切な措置について示されると考えています。

(全員賛成 可決)

一般会計補正予算 (第1回関係部分)

問 地域公共交通促進事業では、町内の事業所に就職する運転士に対する補助とのことだが、バス運転手については、町内の路線バスを運転するとは限らないのではないか。

同時に近隣自治体と取り組めないか。
答 町の路線に限ることは、できないと思います。町の対策を近隣自治体に示すことで、同様の取り組みが広がることを期待しています。

問 この事業の広報はどのように行うのか、また補助の条件は。
答 町のホームページや広報紙また、事業者にも運転士の募集時に案内を働きかけます。

(全員賛成 可決)

補助の条件は、本町に住民登録があり、令和7年4月1日以降に就職し、1年以上の雇用期間、6か月以上勤務された方が対象になります。

問 今回の防災対策事業は、これまでの実証実験の継続事業か。

答 これまで実証実験を行ってきたテレビブッシュのシステムを活用し、今回は、聴覚障害者の方をメインに実施するものです。

問 聴覚障害者の方には、無料で利用いただき、それ以外の方は有料にすべきだと考えるが。

答 聴覚障害者の方には無料プランで利用いただく予定です。これまでの実証実験で、モニターとして参加いただいた方には、有料プランで利用いただき、利用料の徴収方法など調整し、順次行なっています。

(全員賛成 可決)

福祉教育 常任委員会



6月6日開会
委員5名全員出席

一般会計補正予算 (第1回関係部分)

問 成人健康増進事業と予防接種推進事業の増額予算は、システム改修で52万4000円と同額である。

適正な見積価格なのか。
答 システムは違いますが、パッケージが同じような内容であることから、作業量が同程度だと見込んでいるため、同額になっています。

見積価格ですので、契約時には内容を精査していききたいと思います。
問 母子健康増進事業は、成人健康増進事業や予防接種推進事業に比べて、補正額が倍以上になっている。その理由は。

答 開発費が高額になっています。また、作業内容等も複雑で、作業員を増加させる必要があるため、高額になっています。

問 西地区学校施設改修工事の当初設計時では、目視、打診検査をしている。

ドローンを使用している検査はできないのか。また、全ての検査はできなくても目視確認はできるので、増額予算は減額できるのではないか。

答 目視は可能ですが、モルタルの浮き、塗膜の浮きなどは、現状のドローンでは確認できません。

また、建築工事の積算の中で外壁改修工事項目では、ドローンによる調査という項目がありません。そのため、建築業界では、まだ外壁調査時にドローンは一般的ではありません。今後、ドローンの可能性について検討

し進めたいと思います。

問 西地区学校施設改修工事の外壁塗料にリシンを使うとのことだが、足場を組む回数を考えると、高額な塗料を使った方が費用対効果は高いのではないか。

答 前回の外壁改修から15年程経過している状況で、今回長寿命化改修を行い、建物の寿命が30年に延びることです。

他の高額な塗料を使用する場合でも、この先1回は足場を組んだ外壁改修が必要だと考えており、費用対効果を考えた場合、十分だという判断で選定したところです。

(全員賛成 可決)



西地区学校施設改修工事

答 現在、阪急バスと覚書を交わしています。A

問 ハニタスの車両の今後は。

答 早急にスクールバスも含めて検討を進め、結論を出し、保護者にもご理解が得られるように進めていきます。

問 西地区義務教育学校の通学手段を公共交通の利用を検討することだったけど、阪急バスが減便された。今後の対応は。

阪急バスの減便、廃止
住民に与える影響は

正しい情報を広く、 確実に周知する



さいわき 明美



I オンデマンドバスの検証結果を踏まえ、バス事業者の意見を聞きながら、その他の利用を含め検討していきます。

水道料金を広く確実に周知する

問 東地区の水道管の老朽化が原因で水道料金が、高いと誤情報があるが。

答 本町で一番老朽化している地域は、昭和42年ごろから順番に整備されたときわ台地区で、令和3年から水道管更新を計画的に実施しています。

問 水道料金は受益者が公平に料金を負担してい



ときわ台の水道工事

ることを、どのように、広く確実に住民に周知するのか。加えて、専門的な情報を噛み砕いての工夫、図やQ & AとしてFAQ（よくある質問）などの導入で広報を求める。

答 大阪広域水道企業団のホームページからの発信、今年度から「広報とよの」で水道事業の決算に関する情報を10月号で掲載する予定です。

大阪広域水道企業団と連携し、住民の皆さまに正確にご理解いただけるように広報していくよう進めてまいります。

だれもが安心して 住める町へ



高尾 靖子



公共交通は 住民の交通権・移動権の保証を

問 バス料金値上げに加え減便や廃止が相次ぎ、交通権・移動権を保障する立場に立つのかが問われています。

3月のAIオンデマンドバス3回目の実証実験は、利用者の増につながらず課題を残したままだが、運転手不足も切実だが、住民の通勤・通学・暮らしに多大な影響を及ぼしている。町としての解決策はどうか。

直ちに解決できる有効な対策はない状況

答 交通問題は直ちに解決策はありません。

AIオンデマンドバス（ハニタス）は現在、KPIの取りまとめを行っています。運行会社から意見も伺い、今後、ハニタスの実証運行の検証が終わるタイミングで、利活用になります。課題は本町に限らず、全国的な運転手不足です。ハニタスの劣化を防ぐため、車両の維持管理は阪急バスで行い、他には使用しない条件です。車両の所



AIシステム利用しての運行は難しい？

有者は豊能町です。

AIオンデマンド交通システムを利用しての運行にしましては、システム、運行経費などのランニングコストが高額であり、費用対効果の面からも難しいと考えています。

町の施策としては、令和6年度より府外から転入し、交通事業者へ就職した方へ、移住就職支援金を加算する制度をつくりました。

問 昨年度、地域計画が策定された。必要に応じて変更していくとあるが、今後の計画はどうなっているのか。

答 策定している9地区において、本年10月から12月末までにかけて、協議の場をもつということを進めています。

問 地域計画は、農地の集約を図り、農業の負担軽減を図るものであるが、農地の集約だけでは高齢

農業施策について

農業の担い手を確保するために



池田 忠史



とよの就農支援塾 活動風景

化や担い手不足には対応しきれない。

町として何かほかに考えているのか。

答 担い手不足については、とよの就農支援塾を開講し、担い手の育成に取り組んでいます。

問 今後、農業をするにも個々の農家では厳しいので、活動組織や法人化など何件かで集まって営農するなどの方法もあると思うが、町から情報の発信はしないのか。

答 豊能町では法人をつくるなどはやっていません。牧の合同会社が参考

になるかと思っていますので、それを踏まえて検討していきます。

高等学校等通学費補助について

問 西地区では申請の受付ができない。こども未来部の生涯学習課があるので、そちらで受付してはどうか。

答 西公民館に生涯学習課はありますが、重要な書類であるので、本庁とのやり取りを考えると、吉川支所で受けるのが現実的と考えます。利便性を考え、今後、検討していきます。

視覚障害者用音声コードの導入を



なが谷 幸弘



視覚障害者用音声コードの導入について

問 「音声コード」というのは、紙媒体に掲載された印刷情報をデジタル情報に変える二次元のバーコードで、この中に文字情報を記録できる。

印刷物に音声コードが付いている場合、紙媒体の端に「切り欠き」と呼ばれる半円の穴が付いているため、視覚障害者はそこを指で触れば音声コードの場所が分かる。

令和6年12月定例会議

で、「音声コード」の普及については、他団体の例も参考にさせていただきながら、本町で取り組めるところは取り組めるように、庁内でも議論をしていきたいと思っています。

まずは情報共有も含めて取り組んでいきたいと思っています」とこの答弁をいただいた。

現在の進捗状況について伺う。

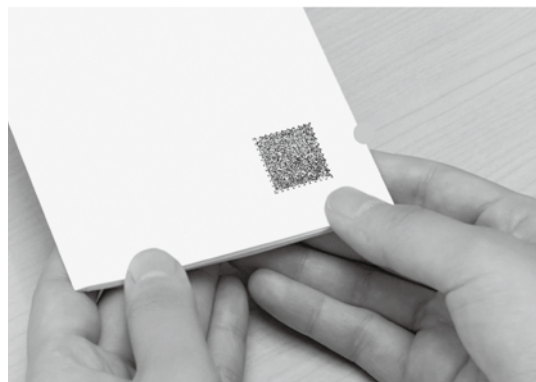
答 音声コードの作成や印刷は、専門知識やスキルの習得などで職員に作業負担がかかり、委託すれば費用も要することか

ら、全庁的な導入については利用のニーズや普及状況などを見ながら、他自治体の事例も参考に引き続き研究します。

問 本町の改葬許可申請書の添付書類は、改葬先の受入証明書を必要としているが、府内43市町村では35市町村が必要としていない。

申請者の負担軽減や府内の状況を鑑みて、簡素化してはどうか。

答 検討させていただき



文字情報を記録できる二次元バーコード

バス定期券でのデマンド 利用に配慮を



中川 あつし



阪急バスのダイヤ改正
について

問 牧と余野間はバスが廃止になり、通勤が懸念されたが、デマンドタクシーを活用することで通勤ができていた実例がある。しかし、希望ヶ丘では、朝のバスが満杯になっているようだが、把握しているのか。

答 改正前後の利用状況を調べており、便数が減ったため、満杯状態ということは把握しています。バスが満杯で乗車で



バス減便廃止の代替手段「デマンド便」

きなかったとの情報を得たため、デマンドタクシーの利用をお勧めした。

しかし、バスの定期券を持ちながら、デマンドタクシーの料金を負担することにもなる。

バスの定期券を持っている場合のデマンドタクシー利用については、料金を割安にするなど、検討できないのか。

答 今後、運行事業者と協議をしていきます。

義務教育学校の通学区
域について

問 令和2年10月会議の補正予算で小中一貫校施

設整備費用が可決した。

私は、東地区から西地区への通学に道を開くことを条件に賛成した。

来年4月に開校する義務教育学校の通学区域については、審議会がスタートしているが、状況は。

答 とよの東学園については東地区全域、とよの西学園については西地区全域という形で答申となりました。しかし、今後開催する保護者説明会で、どのような意見がでるか、その出てきた内容に応じ、教育委員会で検討していく考えです。

構造的な問題の解決には、 覚悟が必要



小寺 正人



路線バスの大幅減便と
まちの衰退

問 地域公共交通を担う路線バスが、昨年に引き続き本年度も路線廃止や大幅に減便された。

バスの減便や値上げなどが利用者減少や地域住民の減少をもたらす。

地域の衰退、町の衰退が止めようなく続く必然性を感じるが。

答 公共交通、医療機関、生鮮食料品がまちづくりの根幹をなすものと考えられています。

今後50年先を見据えて

問 公共施設の再整備・ダウンサイジング・小中学校の再編・地域のにぎわいづくり・子育て支援・転入促進・就労支援・企業支援など胸を張って次の世代にバトンタッチできるように持続可能なまちづくりを進めていきます。

答 本町では令和5年度より住宅建て替え促進事業を行っています。実績として、令和5年度は、申請4件で内3件が新築され、令和6年度は申請4件で内4件が新築されました。

また、昨年9月には、

問 本町で、国家資格者をメンバーとしたNPO法人が国の助成金を得て、空き家問題に特化したセミナーを毎月開催して好評だと聞いている。

問題解決に専門家の知恵を借りることも検討します。



本年度も減便された路線バス

子育て支援策 保育所に送迎バスを



すがのえみこ



購入するも利用が
なかった送迎バス

問 ふたば園では保育所の送迎をしている。1年前幼稚園部用のバスを買ったが誰も乗らなかった。議会では、国保診療所の送迎をしたらどうかと言う意見もあった。苦肉の策で保育所部の送迎を始めたように思える。吉川保育所でも送迎してはどうか。

答 ふたば園では4月以降、登園は朝9時、降園は午後2時または午後4

時半に運行しています。

この条件で送迎を希望する園児は幼稚園部だけではなく、保育所部でも利用が可能な運行としています。

吉川保育所は現在、約100人が通っています。通園バスを運行することは、現在のところは考えていません。

西地区の吉川保育所と、ひかり幼稚園を令和11年4月の開園を別途として、公私連携幼児連携型認定こども園を整備する方向で考えています。

まだ3年もある
西地区のこども園開設

問 令和11年4月に、こども園が開園するからというの回答になっていない。開園にはまだ3年もある。吉川保育所は新興住宅地から離れている。子育て支援策としても送迎を実施してほしい。アンケートを取ったりしないのか。

答 アンケートで、例えばぜひともという要望をいただいても、財源的な理由、運転手不足の理由で実施が難しいと考えています。



西地区にも保育所の送迎バスを

持続可能なまちづくり について



寺脇 なお子



空き家・空き地問題について

問 空き家・空き地対策のための条例制定について伺う。

答 現在近隣市町などの情報共有と法的な整備もしている状況です。

問 希望ヶ丘5丁目のジャングル状態の空き地について、どのように対応していくのか。

答 環境保全条例では正措置に向けて対応します。代執行の規定を設けると当該土地の関係は速や

かに進めていけると考えています。

地域公共交通について

問 ハニタスの実証実験を実施してきたが、関係機関とどのように協議し運行していくのか。

答 システム運行費などランニングコストが高額で費用対効果から難しいと考えていますが、運行会社の意見も伺い方針を決めていきます。

問 阪急バスのダイヤ改正により東西のバスが減便になっている。改善に向けて阪急バスとどのよ



安全のため空き家・空き地の条例制定を

問 阪急バスに申し入れ等行っておりますが、利用者の減少と運転手不足が大きな要因です。持続可能なまちづくりに向けて

問 来年度の予算編成に向けて基金を取り崩さない財政運営についてどのよう

答 公共施設等の再編により、人件費や維持管理費を圧縮するなどの行政改革を進め、持続可能な財政運営に努めていきます。

問 公共施設等の再編により、人件費や維持管理費を圧縮するなどの行政改革を進め、持続可能な財政運営に努めていきます。

子どもたちに 安心・安全の教育環境を



秋元 美智子



小中一貫義務教育学校
スクールバスの導入を

問 教育委員会が、遠距離と考えている児童数は。

答 次年度、新光風台在住の小学生89名のうち、1・2年生の24人です。

問 ひかり幼稚園の送迎バスは定員54名で年間経費260万円。財政的にスクールバス導入が難しいとは思えないが。

答 260万円は運転手の人件費。スクールバスは補助員を雇用するため二人併せて500万円。



シートの室内プール年間を通して利用

大型バスは運転手の確保が難しく、普通乗用車10人乗り3台用意した場合、その人件費が計1500万円となり、どちらも難しいのが現状です。

水泳の授業 熱中症対策
シートの室内プール

問 埼玉県桶川市は、中学生1700名の水泳の授業を民間委託している。

豊能町では、吉川・光風台小学校がシートの屋内プールを利用しており、その年間利用料は児童一人当たりに換算すると約5000円。

熱中症対策が重視され

るなか町内の全児童生徒がシートスで授業を受けても約370万円。町の負担は大きくない。

答 近年、夏場の異常気象によって、屋外プールは暑過ぎて授業ができないとか、教員や子どもの安全性・教員の働き方改革などから民間体育施設を利用するケースが増えています。

豊能町は、両中学校ともプールの改修をしておらず、その費用や水道代等々のランニング経費など考え合わせて検討しているところですよ。

第10回 スマートシティ

特別委員会

6月9日開会
委員4名全員出席



令和7年3月末、町が3年前、約3億9000万円でコンパクトスマートシティ・プラットホーム協議会（CSPFC）に全面委託したスマートシティ事業が終了しました。

主な事業の実績と、今後の方向性について町から説明がありました。

なお誌面の都合上触れることができませんでした。が、このほかCSPFCに確認すべき事項として、町に5点申し入れました。

主な事業の結果と 今後の方向性

町の費用で 継続する事業

●「見守り事業」

子ども、高齢者を対象にタグ105台を配布。今後は200台達成をめざしています。また、受信機の設置場所を80か所から85か所に増やします。

●「テレビブッシュ」

端末機の配布実績は131台。今後は、聴覚障害者等を対象に配布することになり、この6月

町の費用負担がなく
利用できる事業

●「スマホ教室」

利用者は3年間で述べ約608人、令和8年度は総務省の補助金を活用し、民間事業者2社が実施する予定です。

●「とよのんコンシェルジュ」
ダウンロード、述べ約1万800件。ただし、利用できるのは令和9年度まで。

●「子育て」（オンライン会計スクール）
実績ゼロ。「とよのんコンシェルジュ」に組み込まれているため令和9年まで利用可能。

実施しない事業

●「デジタル行政」

データ入力作業時間効率化20%。

●「地域経済」

1年目、月平均215人利用。

●「ウェアラブル」

273台配布。

議員による 避難所開設訓練 を行いました

6月6日
中央公民館
大会議室

南海トラフ大地震が「30年以内に80%の確率で発生する」と言われてから約10年が経過しており、いつ発生してもおかしくない状況です。

現在、災害発生時の対策は行政が中心となって行います。行政には、防災計画の策定、防災訓練の実施、防災情報の提供、災害対策本部の設置・運営、避難指示の発令、避難所の確保、避難誘導など法律で定められたさまざまな役割があります。

また、一部地域では住民による自主防災組織が発足しています。

一方、議会に法律で定められた役割はありません。しかし、豊能町議会では、住民のみなさんの代表である議員に何ができるのかということを試



行錯誤してきました。

また、日頃から訓練をしていなければ、避難所に行ったとしても何をすることもできません。

そこで、今回、議会として、初めて議員を対象にした避難所開設訓練を行いました。



今回の訓練の内容

●避難者の受入訓練
(避難者の受付、検温の実施)

●コロナ禍以降に感染症対策として導入された避難所での避難者の生活のためのテントと簡易ベッドの設営

●備蓄食料の試食

避難所を開設した後は、食料や水などの物資の配給、トイレの確保や管理、情報収集などの役割もありますので、これからも継続的に訓練を行っています。

3月14日(金)

令和7年度 豊能郡環境施設組合議会 第3回臨時会

●令和7年度一般会計補正予算

2月に実施した廃棄物管理施設設置工事の入札が不落になったため、建設コストの高騰などを踏まえ、諸経費率を見直したことによる予算の増額と、入札に際して設定する工期が来年度まで延長となるため、工事費と工事管理の委託費について繰越明許費を設定するものです。(全員賛成 可決)

4月25日(金)

令和7年度 豊能郡環境施設組合議会 第4回臨時会

●工事請負契約の締結について

株式会社森組大阪本店が工事金額2億7280万円で落札。

工事は、7月から令和8年6月末までの予定。

(全員賛成 可決)

5月30日(金)

令和7年度 豊能郡環境施設組合議会 第5回臨時会

4月20日(日)に能勢町議会議員選挙がありました。議長に岡本一志議員(能勢町)が選出されました。

●工事請負契約の一部変更について

変更前 2億7280万円 変更後 2億9743万6700円

(全員賛成 可決)

●公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて 竹越守也氏(豊能町)

(全員賛成 同意)

●監査委員の選任につき同意を求めることについて 大西則宏氏(能勢町)

(全員賛成 同意)

令和7年5月18日(日)

に向けて」
作ってみたいな、こんな場所～



西 地 域

議員 10 名／参加者 17 名
午前 9:30 ～ 11:30
西公民館大会議室

東 地 域

議員 10 名／参加者 4 名
午後 1:30 ～ 3:00
中央公民館大会議室

報 告 内 容

令和7年度当初予算について

- ①コミュニティ・カーシェアリング
導入検討事業
- ②がん患者のためのアピアランスケア
助成事業
- ③带状疱疹ワクチン定期接種化事業
- ④5歳児健康診査事業
- ⑤妊産婦タクシー費用助成事業
- ⑥住宅流通・多様化促進事業
- ⑦移住就職応援事業
- ⑧高校生通学費補助事業
- ⑨学校給食費無償化事業

議会からの提言

- ①東地区の公共施設再編に関する提言
- ②資源循環型堆肥化事業への取り組み
に向けた提言
- ③未入金である企業版ふるさと寄附金
対応の提言
- ④空き家を減らし、人口を増やすため
の提言

* 上記内容は、豊能町議会ホーム
ページで動画配信しています

今後の進め方

ワークショップでいただいたご意見は、議員間で検討・協議し、案件を絞り込み、行政に対して提言していく予定です。



議会報告会

【報告内容】 ①令和7年度当初予算
②議会提言

【ワークショップ】

テーマ「新しい町づくり
～あったらいいな、こんなサービス

ワークショップでの主なご意見

公共交通について

- ハニタスの定時間運行
- アプリ予約でなく、電話で予約を（ハニタス）
- 高齢者向けに手軽に利用できる公共交通を
- コミュニティ・カーシェアリングのシニアの推進
- 定年された方をドライバーとして活用
- 能勢電鉄：30分に1本の妙見口直行便を
- バスの運転手の確保、バスの増便、ダイヤの充実
- スクールバス、町バス、幼稚園バスの活用

空き家の対策・利活用

- サークルや会議で活用できるように
- 空き家対策について自治会で情報共有し発信（自治会の役割として集約する）
- 空き家活用の補助金を増やす
- 相談所や書類の集荷場所として活用
- 空き家に対し、除草費を固定資産税に上乗せ

子育て・保育について

- 地域で保育できる制度を
- 共働きがしやすい条件での保育制度に
- 公園遊具の拡充
- 教育・子育て予算の増額
- 地域がもっと教育に関与を

公共施設再編について

- ユーベルホールの近くに喫茶店を
- 高齢者や若者が共に使えるものを
- ふれあい広場を子どもの遊び場に（キャッチボール・サッカー・バスケット バトミントン・その他）
- 世代間交流の場に

学校跡地について

- 地黄郵便局の本局を誘致
- 市民農園や防災施設として活用
- 若い人が集まるレジャーセンターや健康増進のための施設に
- 安価で楽しめる食堂やコミュニティサロンに
- 得意分野を生かせる場所に
- 文化・スポーツ施設に
- 地域の人・老若男女がいろんな事で集まれる場に
- グループホームに

教育・小中一貫校について

- スクールバスの導入
- 小中学校教育の充実

町おこしについて

- 道の駅は国道沿いで集客を見込める場所へ
- 体験型道の駅を
- サイクリングの人が多く来るので、温泉施設を
- 食事やお喋り出来る場所を

仕組みづくりについて

- 人口減少対策
- 豊能町の魅力を発信
- 役場に豊能町をPRする部署を設置する（YouTubeの発信）
- ユーベルホールで、J-POP（マイナーなタレント）など、若年層が興味を持つような企画を

その他

- 議員定数の削減
- 議会報告会を自治会単位で
- 国道477号の整備

東ときわ台小学校 2025.5.31(土)



小学校としての最後の運動会が
開催されました。



光風台小学校

2025.6.1(日)



過去に発生した大きな災害により「災害対策基本法」「災害救助法」「被災者生活再建支援法」が制定された歴史を学ぶとともに、災害発生から復旧復興に至るまでの期間における、議会の役割の重要性について、学ぶことができました。

同志社大学名誉教授
新川 達郎氏

◆災害と議会・議員の役割
青山 侑氏

◆平成からの災害に学ぶ
松本 真太郎氏

◆広域災害対応を含めた自治体の災害対応力強化に不可欠な「防災DX」
内閣府政策統括官付 参事官

令和7年度 町村議会
議長・副議長研修会
(東京国際フォーラム)
5月27日



マチイロ

スマートフォンで手軽に
「議会だより」を読んでも
いただけます

マチイロホームページ

令和7年9月 定例会議予定

8月27日(水)	9:30~	定例会議開会
8月28日(木)	9:30~	本会議(一般質問)
8月29日(金)	9:30~	本会議(一般質問)

インターネット放映と録画配信



豊能町議会では、本会議・一般質問に加え、常任委員会・特別委員会もインターネットによるライブ配信・録画放映をしています。

北海道蘭越町議会
豊能町議会を視察
6月25日

北海道人道蘭越町議会の皆さまが、本町議会のタブレット端末を活用した議会運営について視察に來られました。

導入システムの種類や操作方法の研修方法、導入から本格運用までのスケジュール、導入・運用にかかるコストなど、かなり詳細な質問をされました。

大幅なペーパーレスが

可能になることや、情報収集だけでなく、議会からの情報発信もしやすくなることから、導入に向けて前向きに検討されるということでした。



編集後記

連日、厳しい暑さが続いています。水分補給やこまめにエアコンの温度設定をするなど熱中症対策を万全にお過ごしください。

スマートシティ事業の3年間が終わりました。住民のために役に立った3億9000万円だったのでしょうか。また、未入金の問題は訴訟というかたちになりました。さて、今年度は9月に町議会議員選挙があり、すので、次号の発行は改選後となります。今回でこのメンバーでの編集は終了です。ご愛読ありがとうございました。

広報特別委員会

(菅野)

委員長 永谷 幸弘
副委員長 菅野英美子
委員 池田 忠史
才脇 明美
秋元美智子
高尾 靖子

この議会だよりは再生紙を使用しています。

大阪府豊能町 議会だより

第154号 令和7年7月25日

この広報誌は、議員6名で延べ5日間編集作業を行い、8,700部作成。1部あたりの単価は21.67円、配達に8.9円かかっています。12